

2021/8/30

(うと Q 世話し 前記事「まずは 70 でよし」での大混乱の原因を探る)

毎日色々な事が起こり、それを日々頭の中で整理するのですが、整理が上手く付かないとイライラしてきます。

最近はどうした訳かその整理が上手く行かず、イライラのしっ放しです。

書き物も上手く纏まりません。

書き終えた後 1 日位経つと

「どうも腑に落ちない」「何かしっくりこない」「何か取り落としている」

等等。

公の場で自分の事を書くのは邪道だと言う事はよく承知しているのですが、余りに整理が付かなくなってきたので、番やむを得ず「完全なる自己都合」ですが緊張感を持って整理する為に敢えて皆様の御前で書いてみる事に致します。

例えば昨日の記事「まずは 70 でよし」

の中での会社のモットー「Never give up」と自分のモットー「兎に角行ける処まで行ってみようよ」の対比。

それを前記事では「正反対」と記したのですが、どうも今一つズレがある様な気がしていたのです。

「納得のいく対比になっていない」

それで自分のモットーの成り立ちを今少し点検してみると、元々は

「ダメだったらやり直せばいい。何度でもやり直せばいい。兎に角行ける処まで行ってみようよ」

であった事を思い出しました。つまり「前半部分を端折っていた」

となると端折っていた前半部分「ダメだったらやり直せばいい。何度でもやり直せばいい」が実は「never give up」を既に表していて後半部分だけがそれ以外の要素である事に気づきました。

換言すれば「会社のモットーは前半部分を取ったもの」だと。

前記事の混乱は、前半を省いていきなり後半部分から始めてしまった事による包含関係の囲い違いによる混乱が原因だったのかもしれませんが。

では後半部分の「兎に角行ける処まで行ってみようよ」に何故特段の光を当てたのか？

前記事既出の文言「好奇心」とはどう繋がるのか？

そこで更に過去の記憶を遡ってみると「兎に角行ける処まで行ってみようよ」の前に

「元々ダメ元、元気の素」

という自分の過去記事に思い当たり、更にその前には

「(何でやるかって?) そんなもん、やってみなげやあ、わかんない(から)でしょ」

と言うのに行き当たりました。

此処で始めて前の記事後半に記した「探検」とか「実験」「興味」「好奇心」に該当する

概念が出て参りました。

恐らく自分の中では行動の原動力として「諦めない」事から得る力より「興味、関心、好奇心」から得る力の方が役立つ、或いは後者こそ前者の母体であると考えているからかもしれません。

もしそれが主旨であるなら前記事で「エジソン」も「鉄人ルーテース」も「人間機関車ザトペック」も敢えて出す必要は全くなかった訳です。

では何故この様な筋立てミスを起こしたのか？

答えは簡単。

従業員のコロナ感染で内心「カレー屋以外で存在感を発揮せねば」という気の焦りが生んだ
「箔付けによる存在再喚起」

がその答え。

記事題名と「隠された真の目的」の完全なる不整合が巻き起こした大混乱でした。